

# 令和元年度 第1回田原市地域公共交通会議会議録

<b>会 議 名</b>	[第49回]令和元年度 第1回田原市地域公共交通会議
<b>開 催 日 時</b>	令和元年5月30日(木) 15:30～17:15
<b>開 催 場 所</b>	田原市役所 講堂(南庁舎6階)
<b>出席者氏名 (敬称略)</b>	<p><b>(委員)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○田原市副市長 鈴木 正直[会長]</li> <li>○田原市都市整備部長 鈴木 隆広[副会長][議長]</li> <li>○豊鉄バス株式会社取締役営業企画部長 長縄 則之</li> <li>○豊鉄ミデイ株式会社取締役支配人 田辺 征也</li> <li>○渥美交通株式会社代表取締役 鈴木 雅</li> <li>○公益社団法人愛知県バス協会専務理事 小林 裕之</li> <li>○愛知県タクシー協会豊橋支部長(豊鉄タクシー(株)取締役社長) 浅野 丈夫</li> <li>○豊橋鉄道株式会社代表取締役社長 (代理)常務取締役 柴田 良昭</li> <li>○田原市老人クラブ連合会長 (代理)副会長 杉田 彰治</li> <li>○田原市地域コミュニティ連合会長 山本 五夫[監事]</li> <li>○田原市商工会工業部会長 天野 英一郎[監事]</li> <li>○田原市民生児童委員協議会主任児童委員 永富 結美</li> <li>○国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 (代理)運輸企画専門官 平井 早苗</li> <li>○愛知県振興部交通対策課主幹 (代理)主査 児玉 朋孝</li> <li>○愛知県東三河建設事務所維持管理課長 小柳 和人</li> <li>○名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤 博和[副会長]</li> <li>○豊橋技術科学大学建築・都市システム学系助教 松尾 幸二郎</li> <li>○渥美半島観光ビューロー事務局長 (代理)事務局長代理 河合 郁朋</li> </ul> <p><b>(事務局)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□都市整備部街づくり推進課長 小久保 智宏</li> <li>□都市整備部街づくり推進課長補佐兼都市政策係長 鳥居 伸光</li> <li>□都市整備部街づくり推進課都市政策係主事 田中 裕崇</li> </ul>
<b>欠席者氏名 (敬称略)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸旅客船協会(伊勢湾フェリー(株)取締役社長) 福武 章夫</li> <li>○一般社団法人田原青年会議所理事長 山崎 隆三</li> <li>○豊橋鉄道労働組合中央執行委員長 長坂 和俊</li> <li>○愛知県田原警察署交通課長 小笠原 宏時</li> </ul>
<b>報告事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 役員の選任について ①副会長1名 ②監事1名</li> <li>(2) 平成30年度田原市公共交通利用者実績等について</li> <li>(3) 第2次田原市地域公共交通戦略計画(地域公共交通網形成計画)における実施計画に関する主な取組について</li> <li>(4) 豊鉄タクシー(株)、豊鉄ミデイ(株)によるぐるりんバス利用促進の取組について</li> </ul>

協議事項	(1) 平成30年度事業実績・収支決算(案)について → 承認 (2) 田原市生活交通確保維持改善計画(案)について → 承認		
会議の要旨	以下のとおり。	傍聴者	0名(記者0名・随行者2名)
<p>会長 (副市長)</p> <p>会長 (副市長)</p> <p>事務局</p> <p>松尾委員 (技科大助教)</p>	<p><b>[1 会長挨拶]</b></p> <p>皆様こんにちは。副市長の鈴木でございます。</p> <p>委員の皆様方には、日頃、田原市の公共交通に関しまして、ご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、本年度新たに委員になっていただいた方々につきましては、お引き受けいただき誠にありがとうございます。</p> <p>本市の玄関口であります三河田原駅周辺におきましては、駅前通り線の道路整備、駅舎の整備、ホテルの誘致、まちづくり会社による飲食等商業施設の整備、そして先月の4月22日、親子交流施設「すくっと」がオープンして、街の顔としての整備がほぼ完成されました。</p> <p>駅周辺機能の強化や街の魅力を向上したことにより、市外や集落等から公共交通を利用して田原市街地に訪れる人が増えてくれることを願っております。</p> <p>これから、市民の足をどのように確保していくべきか、また、高齢者の自動車事故もふえておりますので、市民の安心安全の観点からもより住みやすい田原市にしていくためにはどうすべきか、ここにおいで委員の皆様と一緒に考えてまいりたいと思いますので、どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>本日の協議事項は、平成30年度事業実績・収支決算(案)について、田原市生活交通確保維持改善計画(案)についての2つとなっております。</p> <p>スムーズに会議が進行できますように、ご協力、また、慎重審議をよろしくお願いいたします。以上で、挨拶とさせていただきます。</p> <p><b>[2 報告事項]</b></p> <p><b>(1) 役員を選任について ①副会長1名 ②監事1名</b></p> <p>※会長から役員選任の報告</p> <p>副会長 鈴木隆広委員(田原市都市整備部長)</p> <p>監事 山本五夫委員(田原市地域コミュニティ連合会長)</p> <p>※会長から議長の指名</p> <p>議長 名古屋大学大学院加藤教授</p> <p><b>(2) 平成30年度田原市公共交通利用者実績等について</b></p> <p>※事務局より説明【資料1】</p> <p>2点ありますが、1点目は、市街地線の変更に関する利用者数の減少についてですが、半年間の集計ではありますが、統合した数値が統合前と比べて若干下がっているかと思えます。便数が少なくなり、下がってしまうのは分かりますが、廃止バス停などの影響が大きいのかなど、具体的な原因というのは調査していただければと思います。</p> <p>2点目は、ラグランができて、自分も「すくっと」に2回行っていましたが、そのよう</p>		

事務局	<p>な施設ができて、公共交通での利用者増などに効果があったかどうかなどを教えていただけますでしょうか。</p> <p>1点目の市街地線については、便数が減っているのが大きく影響していると思います。また、廃止バス停のサンコートで乗っていた常連の方が利用しなくなったことが要因と考えております。</p> <p>2点目のララグランができての効果ということですが、ABホテルや商業施設ができてきている時点の結果を見る限りでは、ぐるりんバスの増加等の効果は出ていないのが現状だと思います。ただ、渥美線や路線バスの利用の増加や今後の利用増に繋がればと期待しております。</p>
松尾委員 (技科大助教)	<p>「すくっと」には、公共交通と車で行ったが、圧倒的に車の方が行きやすいと感じました。駐車場代が掛からないのと駐車場もしっかり用意されているのが、その理由ですが、例えば、公共交通で行くと何か少し特典があると良いかなと思いました。また、HP上で検索したところ、車と公共交通のアクセスの記載はありますが、バスや電車の時刻表へ跳べるようなリンクが貼ってあると便利かなと思いましたので、修正をお願いできればと思います。</p>
事務局	<p>HPについては、すぐに対応したいと思います。「すくっと」については、多くの人に来てもらえるように無料となっていますが、有料であれば、公共交通で来ていただいた方に割引というのは考えやすいですが、担当課と何かノベルティ等を配布できないか検討したいと思います。</p>
加藤議長 (名大教授)	<p>利用者数については、通常、下期の方が上期よりも1～2割程度、利用者数が少なくなる傾向にありますので、注意しないとイケないと思います。こういう場合は、半期ごとで比較するのがいいと思います。</p> <p>今更、言うことではないかもしれませんが、駅前周辺の商業施設等の配置の考えについては、少し考えが古いかなと思います。幹線道路で分断されたら全く別の施設と考えられます。今の考えでは、そういった施設と駅のターミナルが一体となっており、駐車場が向かいにあるのが良いと思います。作ってしまったので、これからどうするかということですが、歩行者を優先できるような仕組みを作ることが大事になるかと思います。</p>
児玉委員 (愛知県)	<p>路線バスの利用者数が3万人程度減少していますが、具体的な理由は把握していただけますでしょうか。</p>
長縄委員 (豊鉄バス(株))	<p>OD調査の結果を基に利用者数を算出しており、実質的には2日間の実績を年間に直したものでございます。分析としては、高校生の利用者数が減少しております。今年度の福江高校、成章高校の生徒数の減少が大きく影響したのではないかと思います。今年度の福江高校では、生徒数が増えておりますので、6月のOD調査では、昨年よりも良い結果が期待できるのではないかと思います。福江・伊良湖方面から成章高校へ通う生徒は減っておりますので、そこは少し不安なところであります。</p>

加藤議長 (名大教授)	確認したいのですが、OD調査2日間の引き延ばしでなくて、年間の売上げなどから推測される値と調整はできないのでしょうか。
長縄委員 (豊鉄バス)	これが難しく、伊良湖本線・支線の整理券の枚数をカウントすればできると思いますが、定期の方で整理券を取らない方もおり、傾向的なことは分かりますが、実際の数字としてはどうかということになりますので、OD調査の結果が正確な値かと思えます。
加藤議長 (名大教授)	例えば、保美営業所管内の売上げが本当に1割も減ったのかなどからも推測できると思われますので、その辺から分析できればいいと思えます。
長縄委員 (豊鉄バス)	営業所単位の売上げを見てみないと分かりませんので、見てみたいと思えます。
加藤議長 (名大教授)	伊良湖方面からの自宅通学率がどれくらい分かりますか。逆に言うと下宿率の割合とも言えますが。また、家族の送迎などの割合は分かりますか。
事務局	手持ちに資料はございませんが、平成29年度に3年に1度の市内の高校生アンケート調査を実施していますので、その結果を見れば、割合は確認できます。しかし、市内の3校への調査となっておりますので、市外へ通っている生徒の現状までは把握できておりません。下宿者は、それほどいないのが現状かと思えますが、実際にそう言った話を聞くことはあります。
加藤議長 (名大教授)	子供だけの下宿と親と一緒に下宿する場合があります。親と一緒に下宿した場合で、住民票はそのままだけど、実際はいないという空洞化が懸念されますので、気を付けないといけないと思えます。路線バス等を考える上で非常に重要なことだと思えます。話は戻りますが、定期と定期外の実績は分かりますか。
長縄委員 (豊鉄バス)	定期外については、伊良湖本線は豊橋市内も走っておりますので、豊橋部分の料金が入ってきます。そうすると田原から伊良湖までの正確な実績は分からず、あくまで、傾向値になるかと思えます。
加藤議長 (名大教授)	今日、豊橋からバスに乗って来ましたが、その時間であれば、豊橋の部分での利用者が多いと思えます。しかし、高校生の利用を考えると全体としては、田原-保美間が多いと思えますので、全体傾向としてどうかというのを見ていくことが大事かなと思えます。
会長 (副市長)	福江高校については、過去8年程、定員割れが続いておりましたが、今年度、定員を確保しましたので、生徒数は増えています。また、今年度の9月から高校生へのバス定期に対する支援制度を設けていきますので、対象者がどの区間で定期を利用したかが分かると思えます。そのデータを集計して、今後は報告していきたいと思えます。

事務局	<p><b>(3) 第2次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通網形成計画）における実施計画に関する主な取組について</b>  ※事務局より説明【資料2】</p> <p>（質疑なし）</p>
浅野委員 （豊鉄タクシー株）	<p><b>(4) 豊鉄タクシー株、豊鉄ミデイ株によるぐるりんバス利用促進の取組について</b>  ※豊鉄タクシー株より説明【資料3】</p>
加藤議長 （名大教授）	<p>マルチ広告をコミュニティバスでやるのは例がないかと思いますが、いつ走っているかわかりますか。</p>
柴田委員 （豊橋鉄道株）	<p>毎日、運行車両の時間が違いますので、お問い合わせをいただければ、お答えできます。</p>
加藤議長 （名大教授）	<p>路線図だけでも珍しいと思うので、この広告については、PRの効果があると思います。</p>
事務局	<p><b>[3 協議事項]</b>  <b>(1) 平成30年度事業実績・収支決算（案）について</b>  ※事務局より説明【資料4-1、4-2】</p>
加藤議長 （名大教授）	<p>田原市のように負担金を交通会議に入れて、交通会議でコミュニティバスを運行するという形は、他の市町では少ないですが、来年度のフィーダー補助の制度改正について自分も委員として係わっており、制度改正により、まだ決まっていませんが、事業者に補助金が入るものから交通会議に一括で補助金が入るという形に変更となる見込みです。</p> <p>10月から市が運行する形に変わりますが、フィーダーの補助金は交通会議に入るようになる見込みが高いということになります。</p> <p>※協議事項 [承認]</p>
事務局	<p><b>(2) 田原市生活交通確保維持改善計画（案）について</b>  ※事務局より説明【資料5】</p>
加藤議長 （名大教授）	<p>今回、路線変更もあり、変更となっている部分もありますが、補助金の額的には上限額に達しているということでもよかったですでしょうか。路線が複数あれば、全て対象となるものを上げることとなります。</p>

事務局	<p>上限額となっております。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>内容の細かい修正や今回資料となっていない経費などの数値については、事務局に一任するというので、6月末までに国へ提出していただければと思います。</p> <p>※協議事項 [承認]</p> <p><b>[4 その他]</b> <b>(1) 意見・情報交換</b></p>
<p>河合委員 (観光ビューロー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年10月の井サミットでのぐるりんバス野田線の臨時バス停での利用者数を報告(1日目37名、2日目63名、合計100名)</li> <li>・夏のイベント内容について、周知の依頼</li> </ul>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>今、MaaSというマイカー以外の交通手段を一つの移動手段と捉えて、鉄道・バス・タクシー等が、1つのアプリで決済を済ませることができるようになる仕組みの議論が急速に進められています。</p> <p>国も重点施策として挙げていますが、名鉄さんや近鉄さんは取組を進めているようですが、豊鉄グループ内ではどのように検討しているか気になりますが、大手のところはかなり進めているところもあります。自治体単位でも進めている市もあり、地域の公共交通を一纏めにしているところあります。観光も含めた観点で、よく伊勢・志摩のまわりゃんせを例に挙げていますが、公共交通や観光施設を含めたものも進めていこうという話が急速に進んでいます。</p> <p>フェリーもありますので、この地域と鳥羽などと連携して何かやるのか、また、大きな枠組みで一緒にやるのかななどを検討していかなければいけないと思います。そのために、まずは、地域の公共交通のデータをしっかりと整備しておく必要がありますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>加藤議長 (名大教授)</p>	<p>タクシーの相乗り及び事前確定運賃については、今年度、制度化されることが決まっていますので、田原市にも関係する部分かと思ひます。相乗りは、現状の法律では駄目でしたが法改正により、同一方面に行く人が割り勘で乗って行くことができるようになります。その際に事前に運賃が分かっていた方がいいということで、事前確定運賃の制度も整備されますので、準備を進めていただければと思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>(2) 次回の開催予定について</b></p> <p>次回は12月または1月の開催を予定しております。主な内容につきましては、「地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について」を議題とさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>